

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和6年9月30日(2024.9.30)

【公開番号】特開2023-48843(P2023-48843A)

【公開日】令和5年4月7日(2023.4.7)

【年通号数】公開公報(特許)2023-065

【出願番号】特願2021-158385(P2021-158385)

【国際特許分類】

G 03 G 21/18 (2006.01)

10

G 03 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/18 185

G 03 G 15/20 535

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月19日(2024.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成装置であって、

シートに形成された未定着の画像を加熱する加熱ローラと、当該シートを前記加熱ローラとで挟んで押圧する加圧ローラと、を有し未定着の画像をシートに定着する定着装置と、

前記定着装置を収容する筐体と、

前記定着装置を通過したシートが排出される排出トレイと、

前記筐体に対して開閉可能に設けられ、閉じた状態において画像形成装置の外装をなす外装カバーと、

前記外装カバーの内側に設けられ、前記外装カバーが開いた状態において前記筐体に対して開閉可能なシートガイド部材であって、前記定着装置から排出されたシートを前記排出トレイへガイドするために閉じた閉位置と、作業者による前記定着装置へのアクセスを許容するために開いた開位置と、に回動可能なシートガイド部材と、

前記加熱ローラを第一の押圧力で押圧する第一の押圧位置と、前記加熱ローラを前記第一の押圧力より小さい第二の押圧力で押圧する第二の押圧位置と、に前記加圧ローラを移動させる操作レバーと、を備え、

前記操作レバーは、前記シートガイド部材の回動軸線と同一線上の軸において、前記シートガイド部材に対して回動し、前記加圧ローラが前記第一の押圧位置に位置するときは前記シートガイド部材に対して第一の姿勢をとり、前記加圧ローラが前記第二の押圧位置に位置するときは前記シートガイド部材に対して第二の姿勢をとる、ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記加圧ローラを回転可能に支持し、一端側を揺動中心として揺動する支持部材と、

前記支持部材の他端側に設けられ、前記加圧ローラに前記加熱ローラを押圧させるべく前記支持部材に力を付与するバネと、を備え、

前記操作レバーが、前記バネの復元力に抗して前記支持部材を押圧することで、前記加圧ローラは第一の押圧位置から第二の押圧位置に移動する、ことを特徴とする請求項1に

40

30

50

記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記加圧ローラは前記加熱ローラよりも鉛直方向下方に位置する、ことを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

10

上記目的を達成するため、本発明に係る画像形成装置は、シートに形成された未定着の画像を加熱する加熱ローラと、当該シートを前記加熱ローラとで挟んで押圧する加圧ローラと、を有し未定着の画像をシートに定着する定着装置と、前記定着装置を収容する筐体と、前記定着装置を通過したシートが排出される排出トレイと、前記筐体に対して開閉可能に設けられ、閉じた状態において画像形成装置の外装をなす外装カバーと、前記外装カバーの内側に設けられ、前記外装カバーが開いた状態において前記筐体に対して開閉可能なシートガイド部材であって、前記定着装置から排出されたシートを前記排出部へガイドするために閉じた閉位置と、作業者による前記定着装置へのアクセスを許容するために開いた開位置と、に回動可能なシートガイド部材と、前記加熱ローラを第一の押圧力で押圧する第一の押圧位置と、前記加熱ローラを前記第一の押圧力より小さい第二の押圧力で押圧する第二の押圧位置と、に前記加圧ローラを移動させる操作レバーと、を備え、前記操作レバーは、前記シートガイド部材の回動軸線と同一線上の軸において、前記シートガイド部材に対して回動し、前記加圧ローラが前記第一の押圧位置に位置するときは前記シートガイド部材に対して第一の姿勢をとり、前記加圧ローラが前記第二の押圧位置に位置するときは前記シートガイド部材に対して第二の姿勢をとる、ことを特徴とする。

20

30

40

50